

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の実態やニーズに応じた教育課程の編成・改善に取り組む。 ②学習意欲の向上を目指し、組織的な授業改善に取り組む。	①新学習指導要領に対応した教育課程の研究をするとともに、生徒の学力向上を図る教育課程上の工夫を行う。 ②コミュニケーション能力及び「主体的・対話的で深い学び」に立脚した授業改善に取り組む。	①学習指導要領改訂に関わる研修会を開催する。また、英語科における小集団学習を実施し、生徒の学力向上を図る。 ②各教科で発表やグループ学習を取り入れた「主体的・対話的で深い学び」の授業を展開する。	①効果的な研修会を開催できたか。また、小集団学習を通して生徒の学習意欲の向上につながったか。 ②発表やグループ活動を取り入れた「主体的・対話的で深い学び」の授業が展開できたか。					
2 生徒指導・支援	①新羽生としての誇りと自覚が持てる生徒を育てる。 ②生徒がルール・マナーを守り、安全かつ安心して学べる学校づくりを進める。	①・部活動の加入率を向上させる。 ・三人行事(体育祭、文化祭、ウィンターライブ)を更に充実させる。 ②・生徒の交通安全に対する意識の向上と交通事故0を目指す。 ・生徒の規範意識と自治意識の向上により、生徒自身によるより良い学校生活の実現を図る。	①・部活動への加入率を高めるため2回目の入部期間の設置とHPを活用した部活動の結果や発表の広報を行う。 ・行事に対する意識を高めるため、広報活動を本部と連携し計画的に進める。 ②・登下校時における交通マナーの啓発のため、職員による声かけ指導を通じた交通安全指導を実施する。 ・生徒一人ひとりに合った丁寧な指導と双方の信頼関係の構築を図る。	①・部活動が活性化し、部活動加入率が向上したか。 ・行事開催後のアンケートを検証し、成果が確認できたか。 ②・交通事故件数が減少したか。また近隣住民からの苦情は減少したか。 ・問題行動および指導件数が減少したか。					
3 進路指導・支援	基礎的・汎用的能力の育成を通して確かな進路実現へつなげる。	・多様な進路希望に応じたきめ細かな進路指導を実施する。 ・推薦・AO入試受験者の面接対策の組織化・効率化を図る。 ・生徒の学力・学習生活状況・進路希望・進学状況調査を実施し、多角的に分析することにより生徒の実態を詳細に把握する。 ・調査書発行システムを改良し、業務の効率化を図り、きめ細かな進路データを蓄積する。	・本校において大学・専門学校説明会を開催し、希望分野ごとの進路ガイダンスを実施する。 ・インターンシップ・看護体験・職業体験等へ積極的に参加する指導を行う。 ・FINEシステムを導入し、模試のデータを蓄積・分析し、その結果を職員、生徒、保護者に情報提供することで、進路意識の向上を図る。 ・調査書発行時に、大学学部学科コードを導入し、受験区分、分野の分類を詳細に行う。	・説明会、進路ガイダンスを実施することで、進路実現への意欲を醸成できたか。 ・インターンシップ・看護体験・職業体験への参加者が増加したか。 ・FINEシステムを活用し、各種データの蓄積・分析を行い、職員、生徒、保護者に情報提供できたか。 ・大学学部学科コードを導入し、受験区分、分野の分類を詳細に行ったか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	地域とのつながりを強めるとともに、学校行事等を通じて地域から信頼させる学校づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を通して、学校へのニーズを的確に把握すると共に、地域の力の向上に向けて、生徒が積極的に校外で活動できる環境を整備していく。 HPをさらに充実させ、情報発信を図り、開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新羽フェスティバル、小学校へのボランティア、地域防災訓練等への生徒の参加、及び、スポーツ体験教室、サマープロジェクト、ウィンターライブ等の行事を通じて生徒が地域へ向けて発信し、地域から信頼される学校づくりを推進する。 HPの内容において学校行事や各部活動ページの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域へ向けた活動を希望する生徒が増えたか。行事後のアンケートで生徒の意識が向上できたか。 HPの更新回数が増え、本校の取り組みを発信できたか。 					
5	学校管理 学校運営	学校運営の効率化と事故不祥事防止に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> グループや学年間において仕事内容の精選と協力及び意思疎通を図り、よりスムーズな学校運営に取り組む。 積極的な事故不祥事防止啓発活動を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループや学年の横断的な教育課題について情報交換だけでなく深い意見交換を図る。 職員会議や朝の打合せを通して、職員の事故防止に対する相互啓発活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループや学年間での問題点に対して意見交換をし、共有できたか。 事故防止会議や、日ごろの教育活動において、声かけやゼロプログラムを計画通り実施できたか。 					